

## 発達段階に応じた指導のイメージ

情報モラル教育

ルールやマナーの指導  
(即時的な効果)

道徳的判断力の育成  
(心を耕すこと)

道徳以外

道徳

中学校段階

コンピュータスキルの向上

小学校段階



指導資料の作成に当たっては、図のように学年が進むにつれてルールやマナーの指導時間を多くするような考え方で作成しています。小学校低・中学年段階では、道徳的判断力育成の基となる心を耕すことに重点を置く、そして、小学校高学年・中学校段階ではコンピュータスキルの習得に合わせてルールやマナーの指導が増えるという考え方になります。

ただし、ここでいうルールやマナーの指導は即時的な効果をねらったものです。道徳的判断力の育成については、継続的に指導していく必要があると思いますが、指導時間は限られています。だからこそ、ネットワークの向こう側にいる見えない相手を考える気持ちや、ゆくゆくは情報モラルの向上につながっていくという考え方で、小学校低・中学年のうちから将来を見据えた指導を行う必要があると考えます。